

令和5年 夏

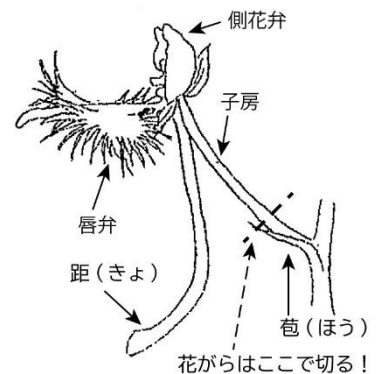
サギソウ花後の手入れ

フラワーランド友の会

ようやく花が咲きました。御苦労・ご腐心も多かったと思います。
涼しげで可憐な花を楽しんだら、今度は新しい球根作りに挑戦してみましょう。
上手に育てると球根は2～3倍に増えます。今年花を着けなかったサギソウも、新しい球根をしっかりと育てています。

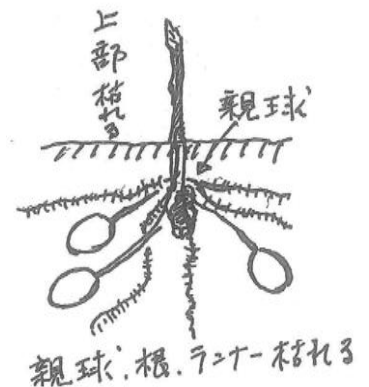
1. 置き場所と手入れ

- ①花が咲き始めたら雨の当たらない所に移しましょう。花持ちがよくなります。室内で観賞する場合は2日に1度は外に出して日に当てましょう。日に当てると花芽が全部開きます。
- ②花が黄ばみ始めたら、その都度茎を残して花柄を摘み取ります。サギソウの鉢の中では、小さいけれど新しい球根を育てています。球根を育てるには光合成が必要です。
- ③元の置き場所（棚上・日当たり・風通しの良いところ）に戻して日を当ててください。ただし、彼岸頃までは30％程度の遮光を行い西日は避けてください。
- ④やがて地上部分が枯れますが、鉢の用土は湿った状態を保ってください。冬は、鉢をかぶせるか新聞紙でくるむなど凍結予防をして、昼と夜の温度変化の少ない棚下等に保管してください。



2. 肥料

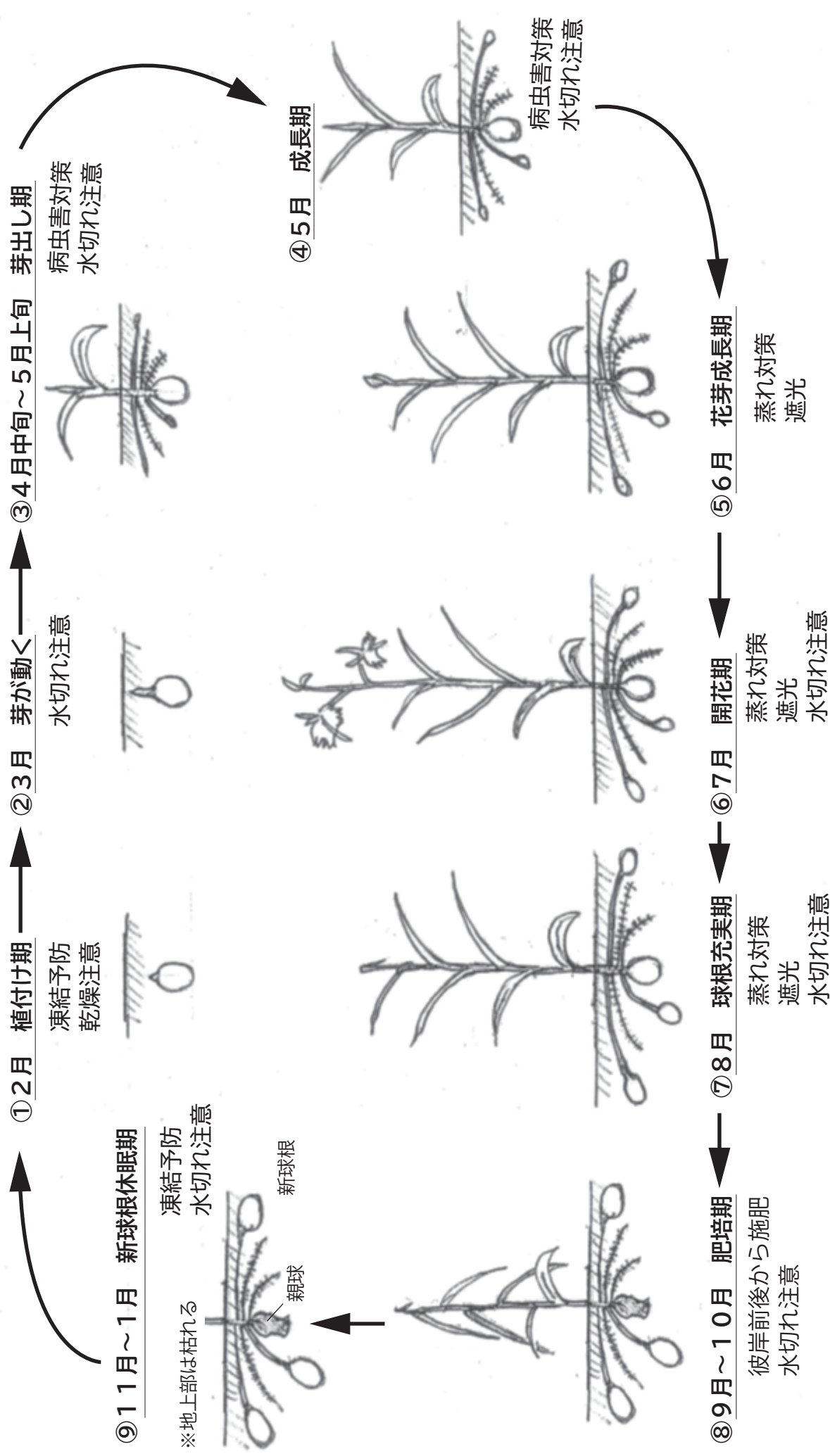
- ①夏を過ぎると球根が育つ肥培期に入り、葉と茎は10月中旬頃まで青々とした状態を保ちます。
- ②9月、お彼岸前後にお礼肥えを与え、それ以降は葉が枯れるまで2～3回施肥してください。
- ③肥料は薄い液肥(2,000倍)を与えますが、株の成育が悪い場合は粒状の化成肥料等を少量与えてください。



3. 水やり

- ①葉が青いうちは、これまでと同様に水やりを行います。
- ②地上部分が枯れても、鉢中の球根はチューリップなどの球根と異なり水分が必要です。用土が乾くと球根も干からびてしまいます。しっとりとした鉢の中で冬眠ができるよう、週2～3回水やりをしてください。

サギソウ生育サイクル



—サギソウ成長サイクルの補足事項—

①近年は暖冬などの影響により、芽出し期から開花期まで、表面の生育サイクルから2週間ほど早く成長する傾向が見られます。そのため、早いものでは3月末ごろから芽を出すことがあります。成長サイクルを参考としていただきつつ、球根の成長を日々見守り、成長ペースに合わせた管理をしてください。

②芽出し期には、アザミウマ、アブラムシ対策として、園芸用殺虫剤(スプレー・粒剤)等を予防散布してください。また、ナメクジは見つけ次第捕殺してください。

アザミウマは1~5mmほどの小さな昆虫です。花の中や葉の間、樹皮や土壌の中で暮らしているため、人の目に触れることはほとんどありません。サギソウの栽培では、このアザミウマに花茎を吸汁されたために、花が咲かないことがあります。球根は花を付けなくても、そのまま肥培することで翌年用の球根を育てることができます。



【参考】アザミウマ(カキクダアザミウマ - Daiju Azuma -

投稿者自身による作品, CC 表示-継承 2.5, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=111149> より)